

2021 年度事業計画（案）

1. 総務関連の事業

- (1) 代議員総会を 6 月 6 日(日) に開催する。
 - i) 2020 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - ii) その他
- (2) 2021 年度大会を、9 月 7 日(火)、8 日(水)の両日、実践女子大学日野キャンパスにて、オンラインとのハイブリッド形式で開催する。
 - i) 研究発表
 - ii) 事業報告会及び学会賞授与式
 - iii) 公開シンポジウム
 - iv) その他
- (3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰
 - i) 学会賞、奨励賞、功労賞の授与
 - ii) 若手研究者発表奨励賞の授与
- (4) 会議の開催
理事会、編集委員会、情報管理委員会、学会賞選考委員会、選挙管理委員会等
- (5) 講演会を 6 月 6 日(日)に開催する。
- (6) 選挙管理委員会を立ち上げ、2022-2023 年度の代議員選出、理事候補者・会長候補者・副会長候補者・監事候補者の選出を行う。

2. 企画・広報関連の事業

- (1) 年次大会・公開講演会を中心とする企画・広報活動を行う。
- (2) 創立 50 周年記念出版の広報活動を継続して行う。

3. 編集委員会関連の事業

- (1) 編集委員会を開催し、日本調理科学会誌第 54 巻第 2 号から 6 号及び第 55 巻第 1 号の編集及び発行を行う。発行部数は A4 判 各 1,600 部とする。
- (2) 『日本調理科学会誌』は刊行後 1 か月以内に WEB 上(J-STAGE)で公開する。

4. 情報管理委員会関連の事業

- (1) 情報管理委員会を開催し、ホームページ等の管理、運用を行う。
- (2) 2021 年度大会演題登録はアトラス社の Confit を利用して行う。
研究発表要旨を J-STAGE にて公開する。
- (3) メール・ニュースを発行する。
- (4) 転載申請に対し許諾の判断を行う。場合により学術著作権協会への申請を依頼する。

5. 規程委員会

諸規程を整備する。

6. 刊行委員会

- (1) 創立 40 周年記念事業「クックリーサイエンス」シリーズの刊行をする。なお、記念出版としての期限を設け、2025 年 12 月までに提出された原稿を出版対象とし、翌年にかけて編集作業を進め、刊行することとする。
- (2) 「料理のなんでも小事典」の重刷を目標に広報活動を行う。

7. 記念出版委員会

引き続き創立 50 周年記念出版シリーズ「伝え継ぐ 日本の家庭料理」の第 15 回～16 回配本分を、一社）農山漁村文化協会より刊行する。

8. 研究委員会関連の事業

- (1) 「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」は研究活動を行う。
- (2) 「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会」は研究活動を行う。
- (3) 「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会」を引継ぐ研究委員会を立ちあげる。

9. 渉外関連の事業

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行う。
- (2) 次の学協会等との事業の共催、協賛及び学会誌の交換及び情報の交換等を行う。
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団、(一社)日本家政学会、(公社)日本栄養食糧学会、(公社)日本食品科学工学会、(公社)日本水産学会、NPO 法人日本栄養改善学会、(一社)日本応用糖質学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(一社)日本官能評価学会、日本熱物性学会、日本高圧力学会、(一社)和食文化国民会議、(公財)塩事業センター、(公財)不二たん白質研究振興財団、(一社)日本レオロジー学会、NPO 法人うま味インフォメーションセンター、日本食品・機械研究会、日本熱測定学会、(公社)日本冷凍空調学会、(公財)ソルト・サイエンス研究財団、その他の学協会

10. 支部活動に関する事業

- (1) 各6支部は、支部総会、役員会、講演会、研究会等の事業を行う。
- (2) 各6支部は、代議員及び理事候補者を正会員による選挙により選出する。